

平成二十年度 京都府公立高等学校入学者選抜学力検査

# 検査 1

## 国語

### 解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1〜4ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を書きなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 解答は、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意して、答案用紙に答えを記入しなさい。
- 5 答えとして記号を選ぶものは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 6 答えとして記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 7 答案用紙の採点欄には記入してはいけません。
- 8 答えの書き方について、次の例を見て間違いのないようにしなさい。

### 解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**答の番号【1】**

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 次の説明のうち、正しいものはどれか、(ア)〜(エ)から一つ選べ。……………**答の番号【2】**

(ア) 北と反対の方角は西である。

(イ) 南と反対の方角は東である。

(ウ) 東と反対の方角は西である。

(エ) 西と反対の方角は南である。

(2) 次の数のうち、奇数はどれか、(ア)〜(オ)から三つ選べ。……………**答の番号【3】**

- (ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3  
 (エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)			<b>【1】</b>	水 曜日	<b>【1】</b>
<b>【3】</b>	<b>【2】</b>			ア イ ウ エ オ		<b>【2】</b>
						<b>【3】</b>

検査	
1	
受付番号	
1 2 3 4 5 6	
得点	

【字数制限がある場合は、句読点も一字に数える。】

「次の文章は、「泊筆話」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1) (6)に答えよ。(12点)

① 吾が師の歌に

心あてに見し白雲は麓にて思はぬ空にはるる富士のね

此の歌、さまでの秀逸とも思はざりしに、いにし文化四とせ、おのれ伊豆の出湯あみがてら、熊坂の里なる竹村茂雄がもとへと心ざして旅たてる頃、熱海の出湯を出でて、弦巻山の頂へかかりしに、浮雲西の空に立ちかさなりたりしかば、伴へる人にむかひて、「富士はいづくの雲のあなたにかあたりて見ゆるぞ」と問ひしに、遥かに指ざして、「あしこの雲の内にこそ」といふ程、いつしか浮雲はれのきけるが、其の指ざし教へたる雲よりははるかに高く、空に聳えてふりあふぎ見るばかりなりしかば、さて其の時ぞ、師の歌を思ひ出でてめで聞こえたりき。 (「新日本古典文学大系」による)

注

- ① 吾が師 〓 私の師匠 (ここでは作者清水浜臣の師匠村田春海のこと)
- ② いにし文化四とせ 〓 先の文化四年 (文化四年は一八〇七年)
- ③ 伊豆の出湯あみがてら 〓 伊豆の温泉に入るついでに (伊豆は現在の静岡県東部の地域)
- ④ 熊坂の里 〓 熊坂村 (現在の静岡県伊豆市の一部)
- ⑤ 竹村茂雄 〓 熊坂村に在住した人物
- ⑥ 熱海 〓 現在の静岡県東部にある温泉地
- ⑦ 弦巻山 〓 現在の静岡県函南町にある山の名
- ⑧ あなた 〓 向こう
- ⑨ あしこ 〓 あそこ
- ⑩ めで聞こえたりき 〓 賞賛し申し上げた

(1) 本文中の二重傍線部 (〓) のうち、現代仮名遣いで書いた場合とは異なる書き表し方をしているものを、次の (ア) (イ) (ウ) から三つ選べ。

- (ア) 思はぬ空に
- (イ) 問ひしに
- (ウ) 浮雲はれのきけるが
- (エ) 教へたる
- (オ) はるかに高く

【1】 答の番号

(2) 本文中の さまでの秀逸とも思はざりし の解釈として最も適当なものを、次の (ア) (イ) (ウ) から一つ選べ。 …… 答の番号 【2】

- (ア) さすがによい歌であると思った
- (イ) そこまで悪い歌とは思わなかった
- (ウ)それほど優れた歌とも思わなかった
- (エ) それまでの歌よりも優れていると思った

(3) 本文中の いふ は誰が言ったのか、また、誰に言ったのか、最も適当なものを、次の (ア) (イ) (ウ) からそれぞれ一つずつ選べ。 …… 答の番号 【3】

- (ア) 作者
- (イ) 作者の「師」
- (ウ) 「竹村茂雄」
- (エ) 「伴へる人」

(4) 本文中の ふりあふぎ見るばかり では、作者は何を見て「ふりあふぎ見るばかり」と感じたのか、本文中から二字で抜き出して書け。また、この表現には作者のどのような気持ちが含まれていると考えられるか、最も適当なものを、次の (ア) (イ) (ウ) から一つ選べ。 …… 答の番号 【4】

- (ア) あきらめと失望
- (イ) 安らぎと満足
- (ウ) 喜びと期待
- (エ) 敬いと遠慮
- (オ) 驚きと感嘆

(5) 次の文は、本文中の和歌「心あてに見し白雲は麓にて思はぬ空にはるる富士のね」を解釈したものである。文中の A ( ) C ( ) に入る最も適当なものを、後の (ア) (イ) (ウ) からそれぞれ一つずつ選んで記号で書け。 …… 答の番号 【5】

富士山が隠れているときに、その中に A ( ) があることを想像しながら見ていた白雲が晴れてみると、そこは B ( ) であって、A ( ) は想像よりもはるかに C ( ) ところに立ち現れた。

- (ア) 山の麓
- (イ) 山の頂
- (ウ) 空
- (エ) 遠い
- (オ) 近い
- (カ) 高い
- (キ) 低い

(6) 本文に述べられていることとして最も適当なものを、次の (ア) (イ) (ウ) から一つ選べ。 …… 答の番号 【6】

- (ア) 世の中の移り変わりやすさ
- (イ) 体験によってもたらされた実感
- (ウ) 親切にされたことへの感謝の念
- (エ) 謙虚に教えられることの大切さ

【裏へつづく】



# 検査 1 国語 正答表

二													一							問題番号	
(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)		(2)	(1)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)		番号の
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	⊖	⊖	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	答	
㊦	⊕ ⊙	るいせき	一体化	I も ら う II た べ る	①	⊕	伝 統 の 産 業	⊕	㊦	日 本 の 土 台	⊕	厚 み	I ㊦ II ⊕	⊕	A イ B ア C カ	富士	誰が ⊕ 誰に ㊦	㊦	⊕	⊕	答
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄	
													完全解答		完全解答		完全解答		完全解答		
2	(各)2	2	2	(各)2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(各)2	2	2	2	2	配点